

建設防災委員会実地視察報告

令和5年7月10日に、建設防災委員会が須磨消防署及び奥畑妙法寺連絡管整備事業を視察しました。

須磨消防署は、平成31年に建設・供用が開始されました。

免震構造を採用し、最大72時間稼働できる非常用自家発電機や非常用排水槽を設置するなど、災害に強い庁舎となっています。待機室を個室化するなど感染症対策も行っており、女性向けのユーティリティーも整備されています。また、敷地内には訓練棟が設置されており、日ごろから職員が訓練を行っています。



奥畑妙法寺連絡管整備事業は、須磨区西落合から妙法寺字宮ノ下間の全長約3.9kmの送水トンネルを新設する事業で、令和2年度より工事着手しています。

連絡管が完成することで、市域西部の2本の既存送水トンネル間で水の相互融通が可能となり、事故発生時のバックアップ体制が強化されます。

現在はシールドマシンを用いてトンネルを構築する第1期工事を行っており、トンネル内に送水管を挿入する第2期工事を経て、令和8年度に全体工事が完了する予定です。

